

Takara standard

コンパクトキッチン アピスカ・グレーシア 設置説明書



もくじ

1. 設置される方へのお願い	1
2. 安全上のご注意	2
3. 設置前のご確認	3
4. 設置方法	4-11
1. 吊戸棚・レンジフードの取付	4
2. フロアキャビネットの設置	4-6
3. 水栓の取付	6
4. 排水部品の取付	7
5. 排水管の接続	8
6. 加熱機器の設置	9
7. 給水・給湯管と水栓の接続	9
8. 扉・引出・固定扉の調整	10-11
5. 仕上げ	11
6. 安全点検および試運転	11
7. お願い事項	12

1. 設置される方へのお願い

- ◆キッチン設置者の安全と使用者の安全確保のため、この設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。
- ◆本説明書については、フロアキャビネットのものです。その他のキャビネットおよびビルトイン機器・水栓金具は、それぞれに添付する設置説明書をご覧ください、正しい設置を行ってください。
- ◆設置完了後、試運転および各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。
- ◆本体に同梱されている取扱説明書等は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れのないように保管し、設置完了後、お客様にお渡しください。

2. 安全上のご注意

必ずお守りください。

●表示内容を見逃して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。		このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。
 注意	この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。		このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告

ステンレス製ワークトップやシンクを取り扱うときは、必ず保護手袋をしてください。



手袋をしないで切断面に触ると、けがをするおそれがあります。

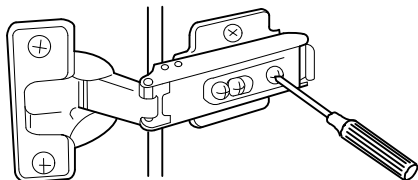
電気工事、ガス工事、水道工事は、関連する法令・規定にしたがって、必ず「有資格者」が行ってください。



接続や固定が不完全な場合は、火災、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります。

注意

設置完了後は、扉の傾き・ガタツキ・丁番の緩みのないことを必ず確認してください。



扉の取付に異常があると、使用中に扉が落下してけがをするおそれがあります。

設置に使われる溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品については、それぞれの注意表示に従って正しくお使いください。



誤った使い方をすると、人体に影響がでたり、使用部材の損傷や劣化の原因となるおそれがあります。

排水器具・排水ホースの取付けおよび接続部分のシールは確実に行ってください。



取付けやシールが不十分な場合は、水が漏れたり湿気が上がり床などが腐るおそれがあります。

包丁差しを取付ける時は、ネジの緩みや浮きのないように、正しく取付けてください。



取付け方を誤ると、使用中に包丁差しがはずれてけがをするおそれがあります。

快適にご使用いただくために必ずお守りください。

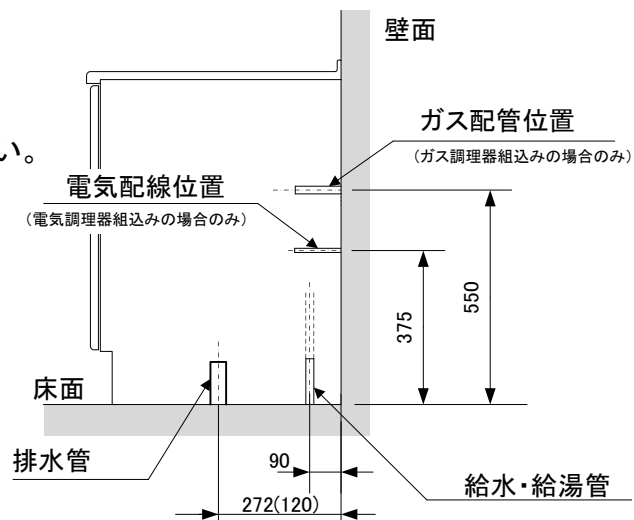
設置途中で製品を仮置きする場合は、ダンボール等で養生を施し、キズがつかないように十分注意してください。

設置中、キャビネットや扉にドライバー、金づち等の固いものを当てたり落としたりしないように十分注意してください。

汚れを取る場合は水ぶき又は中性洗剤をご使用ください。溶剤系統の薬品や漂白剤等は絶対使用しないでください。表面が侵されるおそれがあります。

3. 設置前のご確認

- 注文した製品が納入されているか確認してください。
- 設置する場所の直角・水平レベルを確認してください。
- 設置する場所の両端が壁の場合、壁間の寸法がワークトップ間口より6～7mm以上長いことを確認してください。
- 下記の項目についてその位置を確認してください。
 - (1)給水給湯管・排水管位置
 - (2)建築側のガス管・電気配線接続位置
 - (3)レンジフードの排気口位置
 - (4)機器類の電気配線位置
- ガス種、電圧(100V、200V)、周波数(50Hz、60Hz)を確認してください。
- 各商品に下記の付属部品および組付用小物セットがあるか確認してください。
- オプション品については、付属の説明書をお読みください。



※()内寸法はスライドタイプの場合を示します。
 ※壁面とキャビネットとの間にタイル等が設置される場合は上記の給排水位置にその厚み分を加えてください。

フロアキャビネット(ネジキャップ無しの場合)

部品名	数量
 TSTラスタッピンネジ 4.5x60	2
 トラスタッピンネジ 3.5x14	4
 排水配管蓋(VP-40管用)	1
 設置説明書(本書)	1
 木製システムキッチン取扱説明書	1
 吊戸棚設置説明書	1
 製品等級表示シート(紙)	1

フロアキャビネット(ビルトインタイプのみ)

部品名	数量
 穴ふさぎ蓋	1

フロアキャビネット(段落ちタイプのみ)

部品名	数量
 トラスタッピンネジ 3.5x35	3

ステンレス天板

部品名	数量
 ワークトップ(キャビネット組付)	1
 トラップ(キャビネット組付)	1

排水接続には直管配管接続、ジャバラホース接続の2タイプがあります。
 また、排水部材はトラップに直接組付けされている場合と、別途手配場合があります。
 それぞれの場合に応じて、必要部材があるか確認してください。

直管配管接続の場合

直管アダプターセット	数量
 台形パッキン	1
 スリップワッシャー	1
 袋ナット	1

フロアキャビネット(ネジキャップ有りの場合)

部品名	数量
 TS皿タッピンネジ(ネジキャップ取付用) 4.5x60	2
 トラスタッピンネジ 3.5x14	4
 ネジキャップ	2
 排水配管蓋(VP-40管用)	1
 設置説明書(本書)	1
 木製システムキッチン取扱説明書	1
 吊戸棚設置説明書	1
 製品等級表示シート(紙)	1

水受けタンク(オプション品)

部品名	数量
 水受けタンク	1
 スリーブ	2
 丸木ネジ	2

タンク取付用下地材

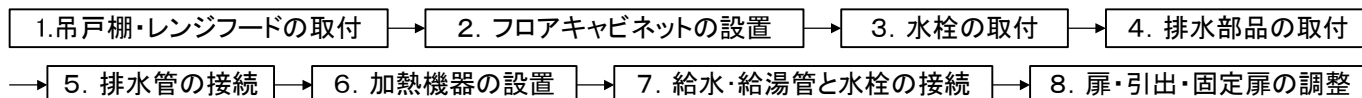
部品名	数量
 下地材	1
 トラスタッピンネジ3.5x14	4

ジャバラ配管接続の場合

ジャバラホースセット	数量
 平パッキン	1
 ジャバラホース	1
(ア)  or (イ) 	排水管アダプター 1

4. 設置方法

下記の手順にしたがって設置作業を進めてください。



1. 吊戸棚・レンジフードの取付

吊戸棚の取付は、吊戸棚設置説明書にしたがって行ってください。

レンジフードの取付は、レンジフード付属の設置説明書にしたがって行ってください。

2. フロアキャビネットの設置

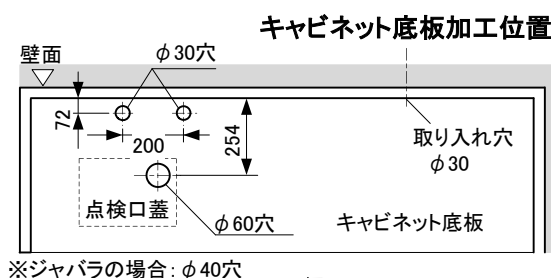
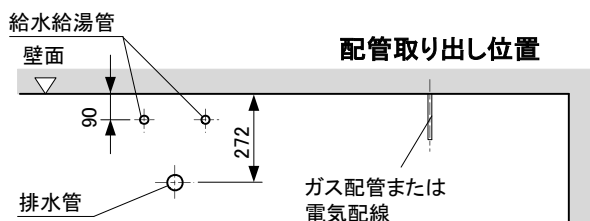
設置前に設置場所に木くずやゴミなどがいないか確認してください。

又、床面のレベルが出ていない場合は、キャビネットが水平に置かれるよう床を調整してください。

【1. 梱包補助材の取り外し】

キャビネット底部に取付けてある梱包補助材を取りはずしてください。

【2. キャビネットへの穴加工】



※ジャバラの場合：φ40穴

＜扉タイプの場合＞

●給水・給湯管穴の加工

配管の立上げ位置を確認してください。

給水、給湯管の立上げ位置に合わせてキャビネット底板にφ30程度の穴を2箇所加工してください。

※水受けタンク設置時は、水栓取付位置直下の背板裏側にタンク取付用下地材を貼り付けてください。

●排水管穴の加工

配管の立上げ位置を確認してください。

排水管の立上げ位置に合わせて、シンクキャビネットの点検口蓋に穴を加工してください。

直管配管：φ60程度

ジャバラ配管：φ40程度

●ガス配管穴の加工（ガスコンロの場合）

配管の立上げ位置を確認してください。

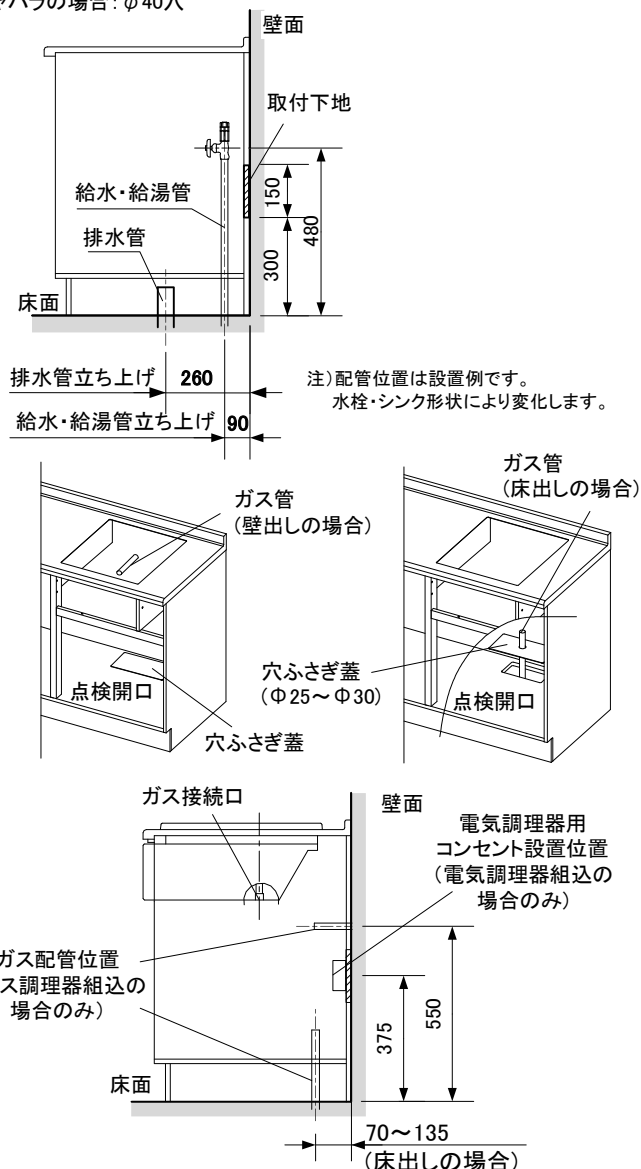
壁出しの場合：ガス管の立ち上がりの位置に合わせて、キャビネット背板にφ25～30程度の穴を加工してキャビネット内にガス管を引き込み、点検開口に穴ふさぎ蓋を取り付けてください。

床出しの場合：穴ふさぎ蓋にφ25～30程度の穴を加工し、底板の点検開口からキャビネット内にガス管を引き込み、穴ふさぎ蓋を取り付けてください。

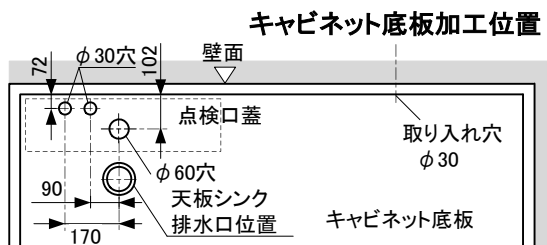
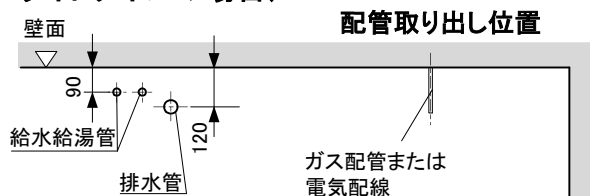
●電気配線穴の加工（電気調理器組込みの場合のみ）

電気配線位置を確認してください。

電気配線位置に合わせてキャビネット背板にφ30程度の穴を加工してください。



(スライドタイプの場合)



※ジャバラの場合: φ40穴

●給水・給湯管穴の加工

壁出しの場合: シンクキャビネットの後板に、
床出しの場合: シンクキャビネットの排水口蓋に、
給水、給湯管の立ち上げ位置に合わせて
φ30程度の穴を2箇所加工してください。
※水受けタンク設置時は、水栓取付位置直下の背板裏側に
タンク取付用下地材を貼り付けてください。

●排水管穴の加工

排水管の立ち上げ位置に合わせて、
シンクキャビネットの排水口蓋に穴を加工してください。
直管配管: φ60程度
ジャバラ配管: φ40程度

●ガス配管穴の加工(ガスコンロの場合)

配管の立ち上げ位置を確認してください。
壁出しの場合: ガス管の立ち上がりの位置に合わせて、
キャビネット背板にφ25~30程度の穴を加工して
キャビネット内にガス管を引き込んでください。
床出しの場合: 点検口蓋にφ25~30程度の穴を加工し、
ガス管を引き込み、ガス配管蓋を取り付けてください。

●電気配線穴の加工 (電気調理器組込みの場合)

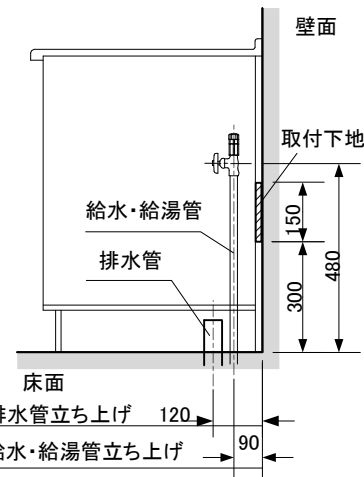
電気配線位置に合わせてキャビネット背板に
φ25~30程度の穴を加工してください。

●タンク取付用下地材 貼付

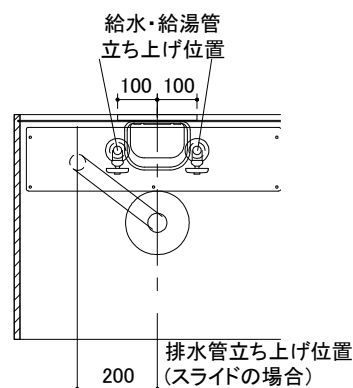
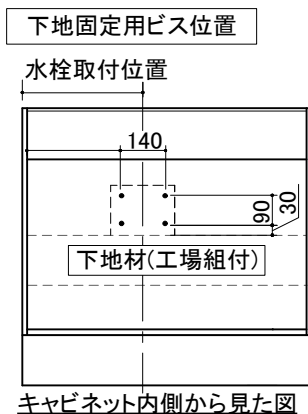
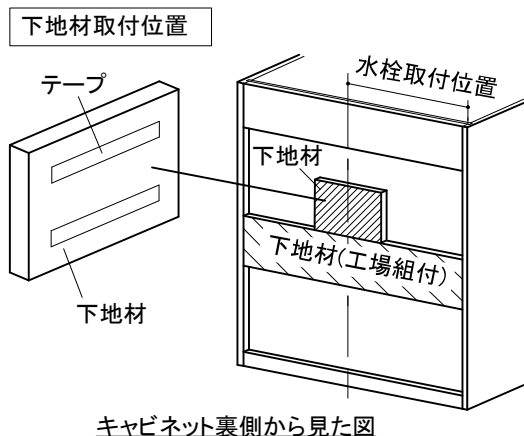
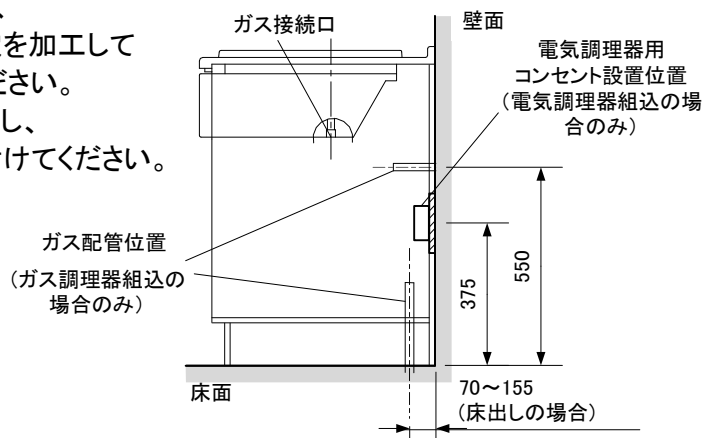
水受けタンク設置の場合は、下記の手順で下地材の取付が必要となります。

- ① 本製品の裏面の両面テープをはがし、水栓取付位置を基準にしてキャビネット裏側から下地材を貼付けてください。
- ② キャビネットの内側から付属のネジを使用して、下地材を固定してください。

※給水・給湯管の立ち上げ位置はタイプに関わらず水栓位置からセンター振り分けにしてください。

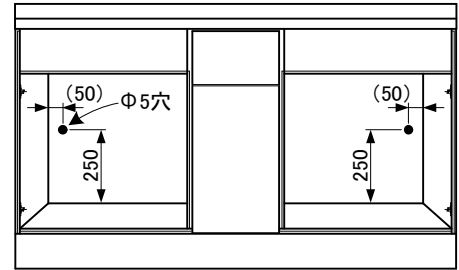


注) 配管位置は設置例です。
水栓・シンク形状により変化します。



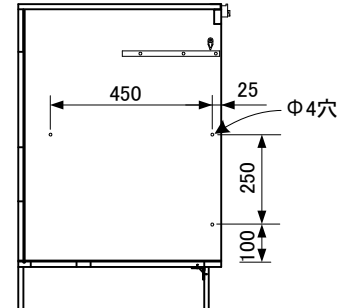
●壁面固定穴加工

シンクキャビネット後板の所定の位置にφ5の壁面固定穴を2箇所加工してください。



●連結固定穴加工（段落ちタイプのみ）

流し台キャビネット側板の所定の位置にφ4の壁面固定穴を3箇所加工してください。



【3. キャビネットの設置】

●キャビネットの設置

所定の位置にキャビネットを設置してください。

加熱調理器組込みタイプの場合は、ガス配管または電気配線をキャビネット庫内に引き込んでください。

●壁面固定

シンクキャビネットの後板の壁面固定穴からTS皿タッピンネジ4.5×60で固定した後、ネジキャップを取り付けてください。

●キャビネット連結固定(段落ちタイプのみ)

流し台キャビネットの側板の連結固定穴からトラスタッピンネジ3.5x35で固定してください。

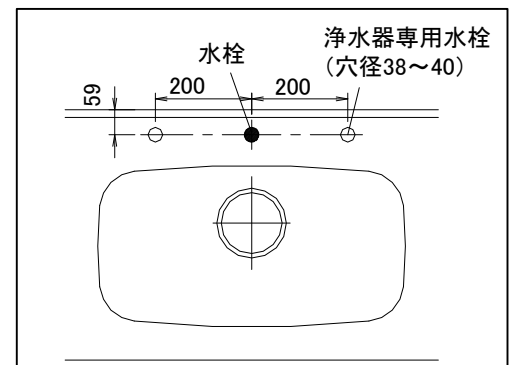
3. 水栓の取付

【1. 水栓穴の加工】

オプション品(浄水器等)を取付ける場合は、下図にしたがってワークトップの所定の位置に穴加工を行ってください。
 図中●印:穴有天板の設定有 ○印:現場での穴加工が必要です。

注) 幅30cmのシンクには浄水器専用水栓が取付できません。

浄水器専用水栓取付位置



【2. 水栓の取付】

水栓に付属の設置説明書にしたがって取付けてください。

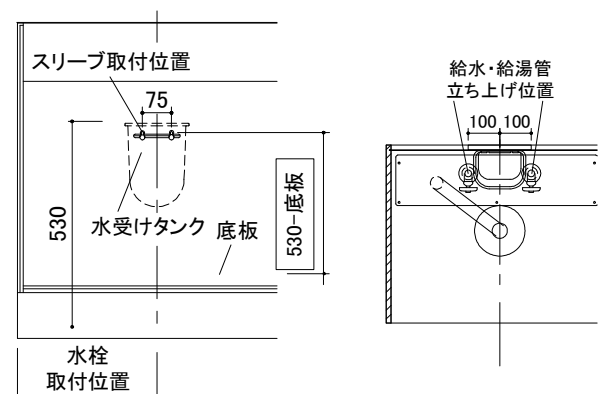
(アルカリ整水器の場合)

アルカリ整水器用水栓取付位置は、上記の浄水器専用水栓と同じ位置になります。

配管の接続、機器の設置等は、アルカリ整水器に付属の設置説明書を参照してください。

【3. 水受けタンクの取付】

水受けタンクに付属のスリーブをネジで取りつけ、右図を参考にしてタンクを取り付けてください。取付後はシャワーホースを出し入れして、タンク内からホースが出ないことを確認してください。



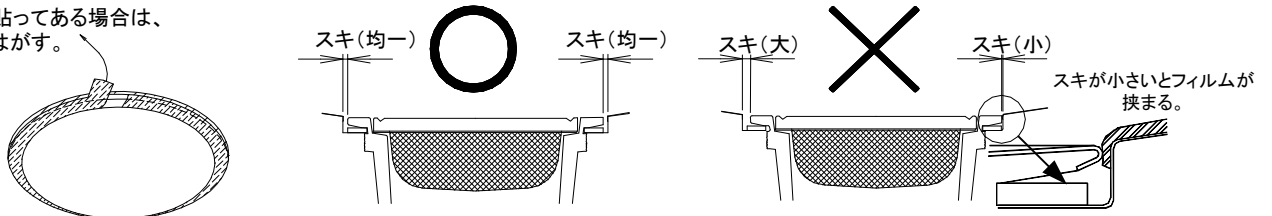
4. 排水部品の取付

①シンクの排水器具取付部のゴミ、ほこり等をふき取ってください。

(排水器具取付部にフィルムが貼ってある場合は、フィルムをはがして取付部のゴミ、ほこり等をふき取ってください。)

- 注) 1. 排水器具取付部にフィルムの切れ端しや異物が残っていると水漏れの恐れがあります。
2. 排水器具取付部のスキがなるべく均一になるように取付けてください。下図の×のようにスキが均一でないと、スキが小さい箇所でフィルムが挟まり、取りにくくなります。

フィルムが貼ってある場合は、
フィルムをはがす。



②排水トラップにパッキンを取付け、シンクの中から排水口に差し込んでください。

注) 排水トラップのパッキン溝部にパッキンがきちんと収まっているか確認してください。(A部)

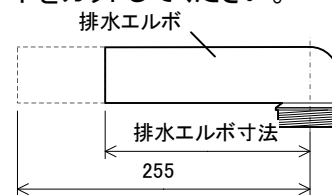
③排水トラップをロックナットで仮固定してください。

[下記④-⑥はスライドタイプ間口180・165・150cmの場合のみ]

④配管の立ち上げ位置からトラップまでの寸法を測定し、排水エルボをカットしてください。

<排水エルボ寸法表> 単位:mm

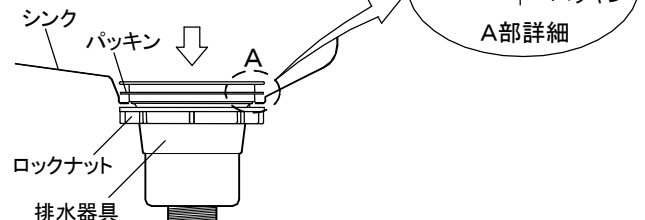
ワークトップ材質	長さ
ステンレス	105



⑤排水エルボに袋ナット・台形パッキン・スリップワッシャを装着してトラップ本体に袋ナットで取付けてください。

注) 差し込む順序や台形パッキンの向きが間違っていないか確認してください。(B部)

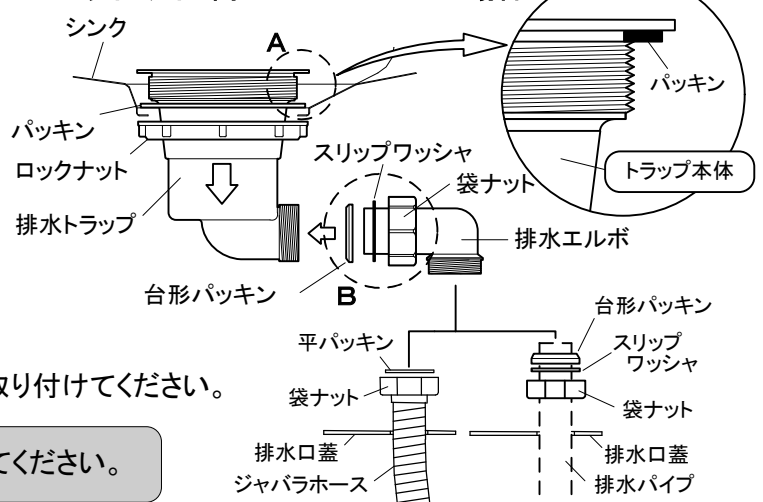
扉タイプの場合



⑥排水エルボが排水口蓋の穴の位置にくるように排水トラップの向きを調整してください。

注) 排水エルボは排水トラップの奥まで十分に差し込み袋ナットをしっかり締め付けてください。

スライドタイプ間口180・165・150cmの場合



⑦ロックナットを締め付けてください。

ロックナット締め付工具は別途手配してください。

[下記⑧-⑨はジャバラホースの場合のみ]

⑧排水エルボまたは排水トラップにジャバラホースを取り付けてください。

注) ジャバラホースの平パッキンをそのまま使用してください。

⑨ジャバラホースを排水口蓋の穴に通してください。

[ジャバラホースの場合]

[直管の場合]

⑩接続完了後、排水トラップのロックナットと接続部の袋ナットを再度締め込んでください。

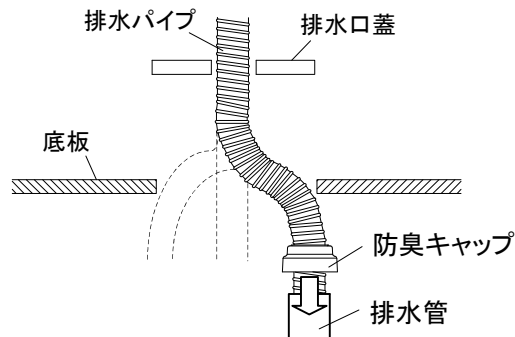
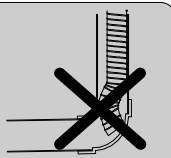
5. 排水管の接続

排水管の接続工事は各地水道局指定工事店に依頼してください。
防臭キャップは、VP40・VU40・VP50・VU50に対応しています。排水トラップ接続部以降の配管部材は全て現地手配となります。※直管アダプター：別途手配となります。

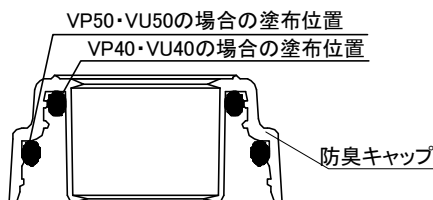
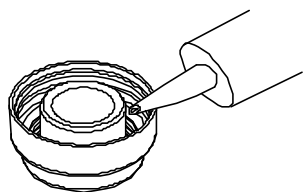
<ジャバラホース接続の場合>

- ①排水パイプを排水口蓋に通し、防臭キャップを排水パイプに取り付けて
排水管の位置確認を行なってください。

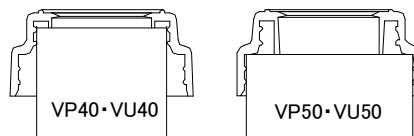
注) 排水パイプを長いまま差し込むと、
排水不良の原因になります。
長い場合は必ず切断してください。



- ②設置時にシール出来るように、防臭キャップ内面全周にシリコン等のコーキング材を塗布してください。

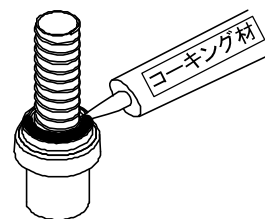
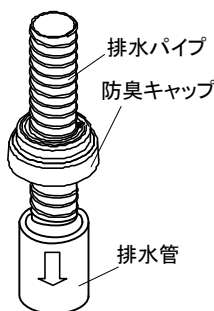


- ③立ち上がっている排水管(塩ビ管)に上から被せてください。



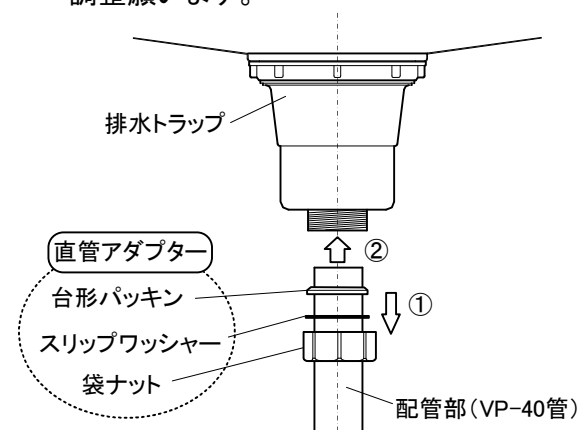
- ④防臭キャップと排水パイプの間をシリコン等でシールしてください。

注) 直管配管の場合は、トラップより先は
現場手配の部品で接続してください。

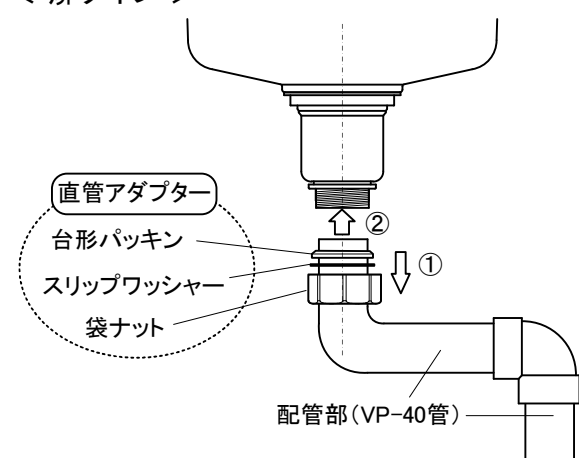


<直管接続の場合>

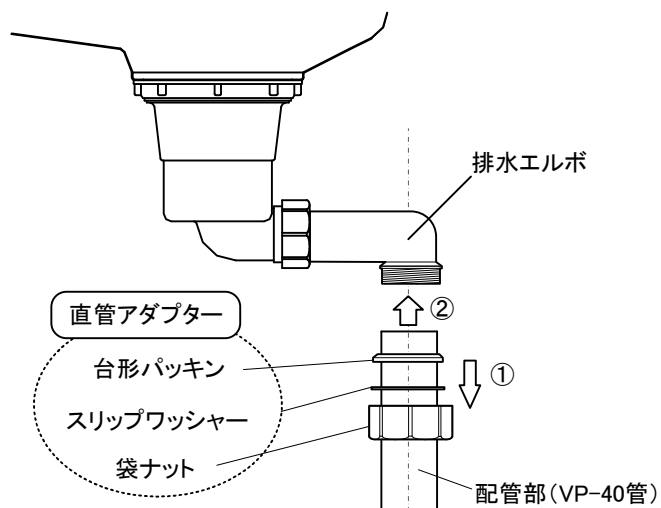
- ①袋ナット、スリップワッシャー、台形パッキンを右図の通り、排水パイプ（VP40、VU40）に通し取付けてください。
- ②排水パイプの長さは排水エルボに十分な長さが入るように調整願います。



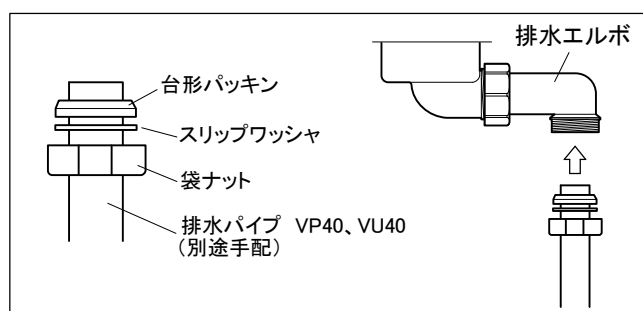
< 扉タイプ >



< スライドタイプ 間口120cm>



< スライドタイプ 間口180・165・150cm>



6. 加熱機器の設置

加熱機器に付属の設置説明書にしたがって行なってください。

(電気調理器の場合)

キャビネット庫内にコンセントを設置してください。

配線関係の接続工事は、必ず電気工事店等の「有資格者」が行なってください。

7. 給水・給湯管と水栓の接続

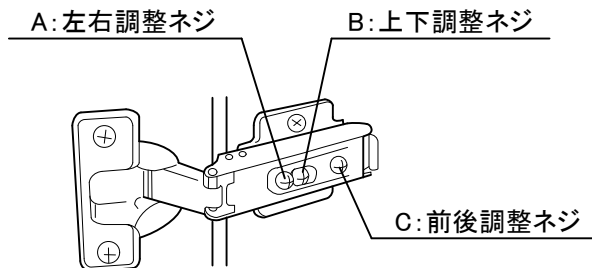
配管工事は各地水道局指定工事店に依頼してください。

配管工事は水栓の設置説明書にしたがって行ってください。

8. 扉・引出・固定扉の調整

【1. 開き扉】(丁番の調整)

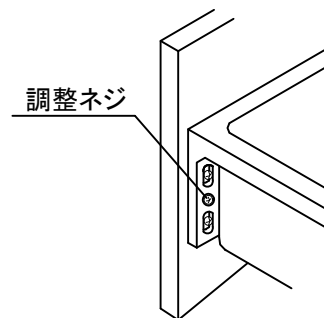
- ①前後調整
Cのネジを緩めることにより扉が前後に動きます。
 - ②左右調整
Aのネジを調整することにより、扉が左右に動きます。
 - ③上下調整
Bのネジを緩めることにより扉が上下に動きます。
- 注)調整終了後、緩めたネジを締めなおしてください。



【2. 引出】(樹脂引出)

引出表板裏面の樹脂引出部に露出しているネジを緩めると、引出表板が調節可能になります。

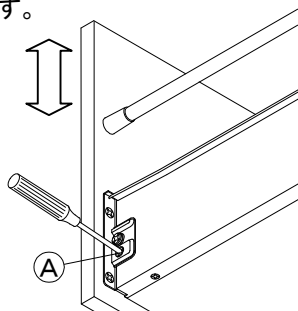
注)調整終了後、緩めたネジを締めなおしてください。



【3. スライド扉】

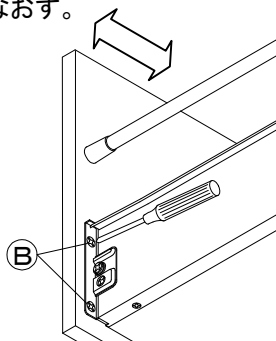
上下調整

「A」のネジを回して上下を調整した後、ゆるめたネジを締めなおす。

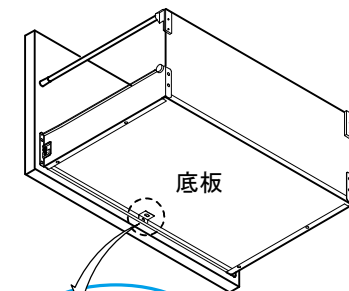


左右調整

両側の「B」のネジをゆるめて左右を調整した後、ゆるめたネジを締めなおす。



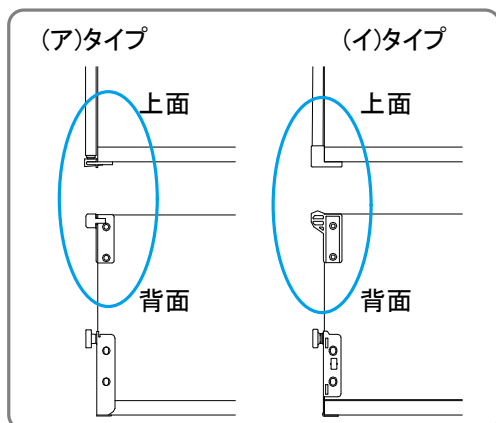
上下・左右調整を行った後、下記①～③の手順で金具を固定する。



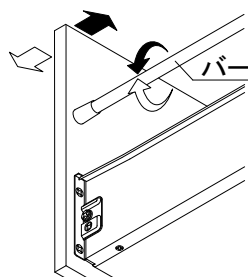
- ①ゆるめる
- ②トラス3.5x14で取り付ける(付属部品)
- ③締めつける

前後調整

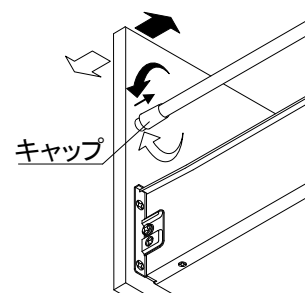
引出後側の構造が(ア)・(イ)タイプの2通りあり、調整方法が異なります。



＜(ア)タイプの場合＞
バーを回して調整する。



＜(イ)タイプの場合＞
キャップを少し引き抜いた状態でキャップを回して調整する。



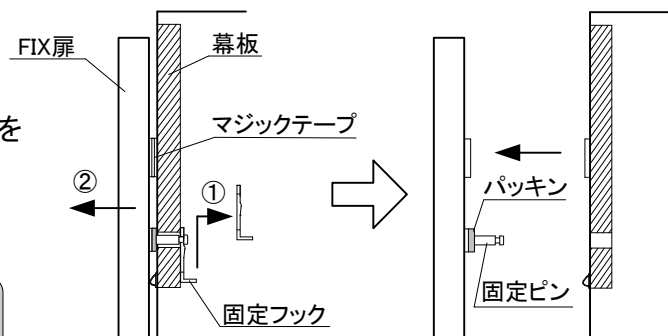
【4. 固定扉】

●FIX扉の取りはずし方・取付け方（スライドタイプの場合）

はずし方

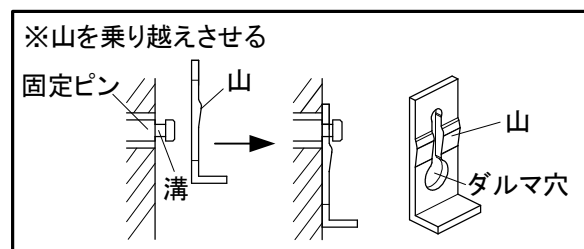
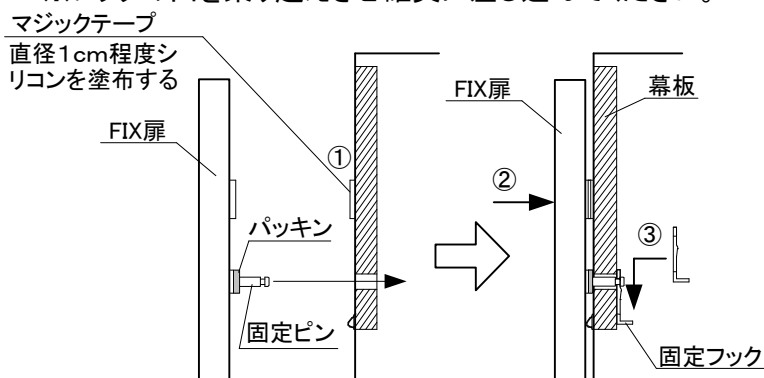
- ①シンクキャビネットの幕板裏面に取付けてある固定フックを上スライドさせて、固定フックを取り外してください。
- ②マジックテープで固定してあるFIX扉を手前に引っ張り、FIX扉を外してください。

注) 固定ピンに取付けてあるパッキンを落とさないよう注意してください。



取付け方

- ①全てのマジックテープに直径1cm程度のシリコンを塗布してください。
- ②固定ピンにパッキンを付けて穴にあわせ、左右の扉と位置あわせを行いマジックテープがかみ合うようしっかり押さえ込んでください。
- ③図を参考に、固定フックを固定ピンの溝にはめてFIX扉を固定してください。
※フックの山を乗り越えさせ確実に差し込んでください。



注) 固定フックはダルマ穴になっており、固定ピンが抜けなくなっています。

5. 仕上げ

【1. コーキング処理】

ワークトップ周囲等、必要と思われる部分をコーキング処理してください。

【2. 清掃】

設置時に商品が汚れた場合は、水又は温水を浸した布でふいてください。落ちにくい汚れの場合は、中性洗剤をつけてふき取り、水ぶきしてから、からぶきしてください。

ご注意：溶剤、酸性・アルカリ性・塩素性の洗剤、漂白剤は使用しないでください。商品をいためるおそれがあります。



6. 安全点検および試運転

【1. 安全点検】

- ①扉の確認
扉の傾き、がたつきや丁番の緩みがないことを確認してください。
- ②排水部の確認
排水トラップおよび排水パイプ接続部などに水漏れがないことを確認してください。

【2. 組込機器の試運転】

キッチンに組み込まれている機器類については、機器に添付されている試運転の方法または操作手順にしたがって正常に作動することを確認してください。

7. お願い事項

【1. 商品の養生】

すべての設置が完了しましたら、ワークトップおよびキャビネットを保護養生してください。

【2. 取扱説明書の保管・引渡し】

キッチンおよび組込機器等の取扱説明書・保証書はとりまとめて、キャビネットの引出しに収納しお引渡しの際、不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

本説明書に関しても、次工程および保守等に必要な場合がありますので、取扱説明書と同様に保管ください。

【3. 梱包材その他設置部材の処理】

梱包資材等の不要部材は、法令にしたがって適正な処理をお願いします。

タカスタンダード株式会社

本社 〒536-8536 大阪市城東区鷗野東1丁目2番1号

APSKセッチセツ(4) 9K-1



12892750